New Zealand Homestay 2017
Photo Report

2017年 8月

Support Our Kids 実行委員会

Support Our Kids

スケジュール

日程	午前	午後	宿泊先
DAY 1　8月2日　水	**東北➡東京**	**事前研修**	–
DAY 2　8月3日　木	**1:00**　羽田発　NZ92便にて出国	**14:10**　オークランド到着 学校にてホストファミリーと対面	オークランド ホームステイ
DAY 3　8月4日　金	**午前**　**登校日** MAGS International Department 集合 バディと対面。授業開始	**午後**　バディと一緒に授業	オークランド ホームステイ
DAY 4　8月5日　土	ホストファミリーと過ごす		オークランド ホームステイ
DAY 5　8月6日　日	ホストファミリーと過ごす		オークランド ホームステイ
DAY 6　8月7日　月	**午前**　**登校日**	**夕方**　Cultural Evening （留学生による母国の文化紹介）	オークランド ホームステイ
DAY 7　8月8日　火	**午前**　**市内観光** 9:00　学校集合、シャトルバスで移動。 Maritime Schoolにて操縦体験と校内見学。	**午後**　バディと一緒に授業	オークランド ホームステイ
DAY 8　8月9日　水	**午前**　**登校日** アクティビティ[市民プール]	**午後**　バディと一緒に授業 **放課後**　Farewell Party	オークランド ホームステイ
DAY 9　8月10日　木	**10:00**　オークランド発　NZ531便にて移動 **11:25**　クライストチャーチ着	**午後**　学校にてホストファミリーと対面	クライストチャーチ ホームステイ
DAY 10　8月11日　金	**午前**　**登校日** Welcome Lunch Party	**午後**　バディと一緒に授業	クライストチャーチ ホームステイ
DAY 11　8月12日　土	ホストファミリーと過ごす		クライストチャーチ ホームステイ
DAY 12　8月13日　日	ホストファミリーと過ごす		クライストチャーチ ホームステイ
DAY 13　8月14日　月	**終日**　**市内観光** 9:15　COOKIE TIME　工場見学 10:00　リッチー・マコウ氏　面会 11:00　カンタベリー大学訪問　昼食＆交流会	13:00　クライストチャーチ市長　面会 15:00　Allied Telesis オフィス訪問	クライストチャーチ ホームステイ
DAY 14　8月15日　火	**登校日**		クライストチャーチ ホームステイ
DAY 15　8月16日　水	**6:00**　クライストチャーチ発　NZ516便にて移動 **7:20**　オークランド着 **8:55**　オークランド発　NZ99便にて出国	**16:50**　成田着・解散式	–

事前研修

ニュージーランド大使館にて

ニュージーランド大使館にて
半日に及ぶ事前研修を実施。

英語での自己紹介、震災プレゼンテーション、
日本茶の振舞い、ニュージーランドについての
自主プレゼンテーションを行いました。
また渡航時・滞在時における注意点など
ホームステイの心構えを学びました。

英語での自己紹介

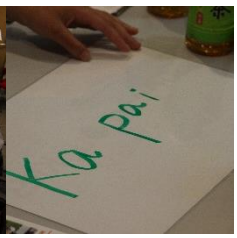
大使から激励の言葉

震災プレゼンテーション

講評

日本茶の振舞い

グループワーク（チーム名と目標設定）



前半：オークランド編 ①

滞在先：マウントアルバート
現地校：Mount Albert Grammar School

学校生活

震災プレゼンテーション

地質学・日本語・コミュニケーションクラスなどで東日本大震災についてのプレゼンテーションを実施。被害状況から現在の復興の様子について英語で発表しました。

授業

パソコン、地質学、数学、日本語クラス、ホームルームなど現地の高校生と一緒に同じ授業を受けました。

前半：オークランド編 ②

ホームステイ

ホストファミリー

オークランドの一般家庭にホームステイ。
各家庭1～2名ずつに分かれて実際の現地の生活を体験しました。

バディ・先生

バディ

生徒1人につき、同い年のバディが1～2人付き、学校生活を共に過ごします。
授業はバディと一緒に同じクラスを受けるため、一緒に日本語クラスを受けることもありました。

この学校では留学生を積極的に受け入れているため、グローバルな環境で、色々な国の人と仲良くなることができました。クラスに4カ国もの人が集まっていたり、マオリの人だけのクラスがありとても驚きました。授業内で行った震災プレゼンテーションでは、みんな真剣に聞いてくれ、少しでも興味や関心を持ってくれて、本当に良かったなと思います。

休み時間やお昼ご飯の時はバディと行動し、シックススクエアというスポーツをして遊んだり、マオリの民族舞踊である「ハカ」を教えてもらったり充実した時間を過ごしました。この学校でニュージーランドの方々の温かさや、明るさ、そして優しさを知り、とても刺激を受けました。

（17歳　男子）

前半：オークランド編 ③

学校行事

Cultural Evening

留学生とそのバディ・ホストファミリーを対象にした学校行事。各国料理のもてなしと、留学生たちによる歌や踊りなどのステージパフォーマンスが披露され、参加者は100名を超える一大イベントに参加。

私たちはステージで南中ソーランのパフォーマンスをしました。日本でも練習したし、ホームステイ先で夜に1人で練習したし、外でみんなに見られながら練習したし…最後にかっこいいパフォーマンスになって嬉しかったです。ホストファミリーや中国とかの友だちにもかっこよかったとかサイコーだったとか、たくさん褒めてもらえました。私たちのパフォーマンス以外にも中国などの留学生の歌や踊りも見ることができていい経験になったと思います。時間が過ぎるのがとても早く感じるけれど、確実にたくさんのことを吸収しています。（16歳　女子）

アクティビティ

市内観光・市民プール

半日のオークランド市内観光。世界中から海運関係の学生・関係者が研修に集うマリタイムスクールの見学とミッションベイで記念撮影。
別日には学校に隣接した豪華すぎる市民プールへ行きました。

後半：クライストチャーチ編 ①

滞在先：リンカーン
現地校：Lincoln High school

学校生活

授業

オークランド同様、一人一人にバディが付き、現地の学生と一緒に授業を受けました。

この学校ではITの導入が進んでおり、生徒全員が一台PCを所有しており、授業中のみならず、予習・復習・宿題も全てPCを使用して進められていました。

またこの学校ではハリーポッターの世界と同じハウス制度を導入しており、全生徒がどこかのハウスに属し、年間を通じさまざまなイベントや行事での活躍で得点を競い合っていました。

クライストチャーチのリンカーン高校で2日間授業を受けました。オークランドのマウントアルバートと同様に日本とは全く違う授業スタイルで、驚きの連続でした。

どの授業も共通でしたが、自分のPCやタブレットに文章や表、グラフをまとめていました。日本の学校は今の社会に対応するためにもっとシステムを変えていかなければいけないのだと思いました。

しかし、ニュージーランドの学校に行ってみて日本の素晴らしさも分かりました。ゴミ箱にゴミを捨てなかったり、掃除を自分でしなかったりする生徒たちを見てびっくりしました。自分たちの当たり前は意外と他の人の目線で見るとぜんぜん違うものだったと言うことも同時に分かりました。（16歳　女子）

後半：クライストチャーチ編 ②

バディ

学校初登校日には昼食時間にウェルカムパーティが開かれ、寿司、サンドイッチ、マフィン、ニュージーランド定番のお菓子「Pineapple Lumps」などが振る舞われ、バディと一緒に楽しい時間を過ごしました。

ホストファミリー

私はオークランドに続き1人でのホームステイでしたが、1人だからこそ学べたことがたくさんあったと思います。英語がままならない中でどう気持ちを伝えるか、文化や環境が違うことを否定せず理解していけるか、人に頼ってばかりだけでは前には進めないということを学べました。
今回のホームステイでたくさんのことを得ることができ、本当に充実した生活を送ることができました。

（17歳　女子）

後半：クライストチャーチ編 ③

Christchurch Helicopters with Richie McCaw

今年の5月に開催したチャリティイベント「Richie McCaw Charity for All ~Japan Tour May 2017 Support Our Kids ~」のために来日してくれたリッチー・マコウ氏と、彼の故郷クライストチャーチで再会しました。

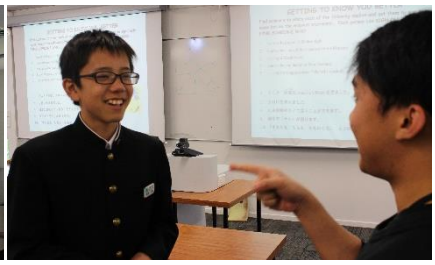
ホームステイやクライストチャーチについて、第二のキャリアであるヘリコプター操縦士の事など語り合いました。

University of Canterbury

カンタベリー大学で日本語を専攻している学生たちとの交流会を実施。

震災プレゼンテーションに始まり、英語・日本語を交えた交流ゲームをした後、一緒にランチを取りながら楽しい時間を過ごしました。

数日後に誕生日を迎える参加者のために、学生・先生・現地コーディネーターの皆さんが事前に準備をして、サプライズでお祝いをしてくれました。



後半：クライストチャーチ編 ④

Call on Mayor Lianne Dalziel.

クライストチャーチ市長である
リアン・ダルジール氏を表敬訪問。

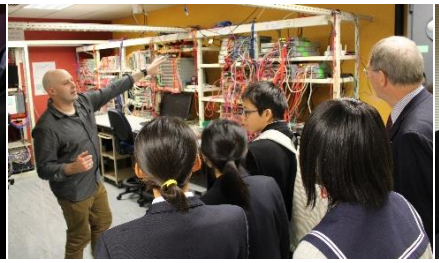
オークランドの学校で披露したよさこいを披露し、クライストチャーチ地震・東日本大震災の被災状況と復興状況やニュージーランドの印象、これからの夢などについて語りました。

在クライストチャーチ
領事事務所のスタッフも
同席して頂きました。

Allied Telesis

日本発のネットワーク専門メーカーである
アライドテレシスホールディングスの
クライストチャーチオフィスを訪問。

世界中のネットワークシステムや機器の検証・
実験を行っており、実験している様子や
福利厚生に力を入れているというオフィス内を
見学しました。



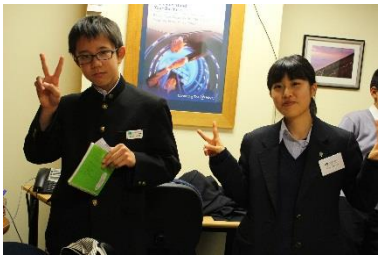
後半：クライストチャーチ編 ④

COOKIE TIME

クライストチャーチに本社を置くニュージーランドを代表する大手菓子製造会社を訪問。

カメラ・携帯の持込禁止など厳重な衛生管理が行われている工場内を見学させてもらい、焼き立てのクッキーをみんなで試食。

PHOTO



まず、クッキータイムに行って工場見学をしました。工場の中はチョコや焼きたてのクッキーの匂いなどのとてもいい匂いがしました！
次にリッチー・マコウ氏に会いました、ヘリコプターを見学させてもらった後、一人ひとりリッチーとツーショットを撮りました。とてもかっこよかったです！

その後カンタベリー大学で日本クラスの生徒とレクリエーション、震災プレゼン、ランチをしました。みんなとてもいい人で楽しかったです。
その後クライストチャーチの市長さんに会いました、クライストチャーチ市長さんと沢山震災の話や将来のことについて話しました。

最後にアライドテレシスに行きました。とてもたくさんの機械を見ました。とても複雑で難しそうでした。アライドテレシスには、プールやジムがありました。

今日は、とてもタイトなスケジュールでしたが、楽しかったという気持ちの方がはるかに大きくとても良い思い出になりました。

解散式

ニュージーランドホームステイを通して、様々な国籍の人たちと交流しました。その会話の中で、日本の良さ、東北の良さ、自分の町の良さなどもたくさん発見することが出来ました。
辛いこともいくつかありましたが、やっぱり困った時は周りの誰かが助けてくれて、改めて人の温かさを感じました。楽しい思い出が増える度、ここに連れてきてくださったたくさんの人たち、家族に対する感謝の気持ちが大きくなりました。

このホームステイで自分の夢に少し近づけた気がします。これからも感謝の気持ちを忘れず、自分の夢に向かって努力していこうと思います。

（16歳　女子）